

ねやがわし

農業委員会だより

2023.3

VOL.

91

「家族で
仲良く
助け合
いなが
ら」
楽しく

ねやがわ農業ニュース…2, 3

農業委員会の活動…4

お知らせ…5

ねやがわ元気ファーマーズVOL.17「上神田支部・滝本さん親子」…6



40回記念企画「おうちで野菜を育てよう」に参加し、楽しそうに野菜の苗を植えているこども。



当日は約3,000人の方が訪れました。



令和4年度は再開されたスーパーボールすくいに喜ぶこどもたち。



地元農産物販売は大盛況。多くの方が野菜を買い求めました。

第40回寝屋川市農業まつりが令和4年11月19日（土）に打上川治水緑地において開催されました。

今回は、地元農産物の販売のみではなく、米粉パンや餅の販売、JAの販売コーナーのほか、スーパーボールすくい等も実施しました。

また、第40回目の節目の開催となることから、先着100名の小学生以下を対象に、体験型イベント「おうちで野菜を育てよう」が行われました。具体的には、サニーレタスの苗、プランター、培養土、油かすを用意し、農業研究クラブの会員を講師として、実際に、こどもが自分でプランターに土を入れるところから教えました。

参加したこどもたちは楽しそうに苗の植え付けをしており、「持って帰って食べるのが楽しみ」、「大きく育つかな」等、思い思いに笑顔で話していました。

Topics

2

寝屋川市農産物品評会

令和4年度寝屋川市農産物品評会が、令和4年12月2日(金)に寝屋川市役所において開催され、67点の応募があり、そのうち12点の農産物が入賞されました。おめでとうございます！！

- 🌟 寝屋川市長賞(玄米:ヒノヒカリ) 篠 眞智子(高宮)
- 🌟 大阪府知事賞(白ねぎ) 中村 治彦(美井)
- 🌟 寝屋川市議会議長賞(カラーピーマン) 家原 傳三(寝屋)
- 🌟 寝屋川市農業委員会会長賞(にんじん) 大西 昭雄(黒原)
- 🌟 北河内農業協同組合組合長賞(きゃべつ) 濱 一博(寝屋)
- 🌟 九個荘農業協同組合組合長賞(ブロッコリー) 滝本 拓馬(上神田)
- 🌟 寝屋川市農政推進協議会会長賞(玄米:にこまる) 栞井 信仁(太秦)
- 🌟 大阪府農業共済組合組合長賞(レモン) 辻本 嘉秀(寝屋)
- 🌟 北河内地区農業委員会連合会会長賞(玄米:にこまる) 川口 智之(郡)
- 🌟 寝屋川市農業研究クラブ会長賞(さつまいも) 甲 正裕(寝屋)
- 🌟 努力賞(えびいも) 溝口 透(太秦)
- 🌟 努力賞(大豆) 喜多 康紀(木屋) 敬称略、地域名は支部単位



Topics

3

北河内地区農業委員会連合会の研修会

令和5年1月24日(火)に寝屋川市立アルカスホールにて、寝屋川市が事業担当市として「北河内地区農業委員会 都市農業振興に係る研修会」を開催しました。

当日は北河内地区7市(交野市、門真市、四條畷市、大東市、枚方市、守口市、寝屋川市)の総勢約100名の農業委員が参加しました。

研修会講師には、一般社団法人大阪府農業会議の鈴木 成専務理事をお招きして、「農地をめぐる情勢、農業委員会の取組について」というテーマでご講演をいただきました。

現在の農業環境を踏まえて、農業委員会が日々どのように業務に取り組んでいくかについてお話ししていただき、日々の業務に対する理解が深まりました。



令和4年度農地パトロールを実施

農業委員会で
は、令和4年8
月から9月にか
けて市内農地の一
斉パトロールを
実施しました。

遊休農地については、草刈等の保全管理だけでなく、耕作を再開するよう指導しています。今年度の農地パトロールは市内を旧村単位の5ブロックに区分し、その区域内の農業委員によるパトロール班を編成。

農地パトロールで発見した1号・2号遊休農地及び無断転用農地については、所有者に対して事情聴取及び対象農地の利用意向調査を実施しました。

耕作が再開されない・事情聴取に応じない場合は、課税地目が農地以外に変更されるなど、固定資産税担当と連携した対応をします。

指導・耕作再開!



農地パトロール実施



遊休農地発見!



◆遊休農地の種別

【1号遊休農地】

現に耕作の目的に供されておらず、かつ引き続き耕作の目的に供しないと見込まれる農地

【2号遊休農地】

農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し著しく劣っていると認められる農地

【管理不全】

耕作しているが雑草が繁茂する等、管理不全な農地

令和5年4月から下限面積撤廃へ

これまで、本市で農地を取得（賃借）する際は、現在耕作している農地（借受けている農地を含む）と新たに取得する農地の合算で20㍍以上なければなりません。

しかし、この下限面積要件について、新規就農促進の観点から、農地法が一部法改正され、要件が廃止されることが決まっています。令和5年4月に法施行される予定です。

寝屋川市内農地の賃借料情報 (10aあたり)

農地法第52条の規定に基づき賃貸借された実勢の賃借料を集計しましたので情報提供します。

地域	平均額	最高額	最低額
市内	19,445円	35,361円	10,588円

(対象：22筆)

なお、この「賃借料情報」は実勢の集計値であり、拘束力はありませんので、実際の契約の際には、貸し手と借り手の両者でよく協議したうえで締結してください。



次の要件を満たし、かつ現地調査などの結果、生産緑地法に基づく指定可能な農地について、土地所有者の申出に基づき、追加指定を行っています。

- ・現況が農地であること。
- ・一団300㎡以上の区域であること。(※)
- ・公害や災害の防止、農林漁業と調和した都市環境の保全などの効用があり、公共施設などの用地に適していること。
- ・用排水などの営農継続可能条件を満たしていること。

※「同一の街区」または「隣接する街区」に存在する複数の農地で合計面積が300㎡以上となるもの（一団の農地を構成する個々の農地の面積は100㎡が下限）

指定を受けると…

生産緑地として 税制特例措置

相続税等：納税猶予の適用
固定資産税等：農地課税

農地等として管理

主たる従事者が死亡等した場合等は、買取申出が可能

特定生産緑地制度について

特定生産緑地とは

生産緑地地区の都市計画決定から30年経過後は、いつでも買取り申出が可能となることから、現在適用されている税制措置が適用されなくなります。

そこで、新たな制度である「特定生産緑地」に指定されることで、買取りの申出が可能となる期間が10年延伸され、現在適用されている税制措置が引き続き適用されます。

生産緑地制度の概要等は市ホームページ(2軸化事業本部)でもご覧いただけます。

【ページID: 2027】

※生産緑地及び特定生産緑地の指定は、要件がありますので必ず事前相談をお願いします。



受付

生産緑地及び特定生産緑地の指定の受付は、2軸化事業本部で随時行っています。

必要書類、受付期間等の詳細については、市(2軸化事業本部)のホームページで確認することができます。

相談

生産緑地及び特定生産緑地の指定等に関するご相談は、2軸化事業本部または農業委員会事務局で随時受けています。

問い合わせ先

【2軸化事業本部】
寝屋川市役所本庁3階
(☎ 813・1204)

【農業委員会事務局】
寝屋川市上下水道局3階
(☎ 825・2746)



元

ね

気

や

フ

が

ア

わ

ー

マ

ー

ズ

VOL.17



滝本 多美子さん（上神田支部）
九個荘農業協同組合理事、九個荘農業協同組合女性会の会長をされています。父、夫、子（拓馬さん）と農業をされています。

滝本 拓馬さん（上神田支部）
現在は、市内外で合計、田んぼ7反、畑2反を耕作されています。季節にあった多くの種類の野菜を耕作されており、繁忙期には家族の力を借りて、耕作されています。

今回は家族で農業に取り組みられている上神田支部の滝本多美子さん・拓馬さん親子を取材しました。

農業をする中で大切にされていることはありますか？

（拓馬さん）畑では「季節の野菜は何でも届けられるように」をモットーに多くの種類の作物を育てています。また、土づくりには力を入れていて、もみ殻から堆肥を自分で作っています。

農業をしていてうれしかったことはありますか？

（多美子さん）とれたての野菜はやつぱりおいしい！おいしいお米に、おいしい野菜。家族が喜んでくれるのが一番うれしいですね。

（拓馬さん）やつぱり対面販売で「美味しい」と言われる時が一番うれしいです！

農業をしていて苦労したことはありますか？

（多美子さん）一番の悩みはやつぱり日焼けですね（笑）騒音等、周辺地域との調整もありますね。（拓馬さん）害虫にも気を使いますし、冬は寒さにも気をつけて大事に作物を育てています。

チャレンジしたいことはありますか？

（多美子さん）J A大阪の女性会の交流の機会を設けたいですね。

（拓馬さん）アスパラガスや生ニンニク等、珍しい野菜を作ってみたいですね。

現在の農業を取り巻く環境をどう思いますか？

（多美子さん）女性も活躍できるように、援助があればいいなと思います。農業だけでは食べていけないから、農業者に対する手当やサポートがあれば農業経営が続いていくと思います。

（拓馬さん）野菜がおいしいこと、農業が楽しいことが多くの人に伝わって、農業に携わる人が増えればいいなと思います。そういった人が農業に触れる機会があればいいなと思います。

家族で農業をする中で感じることは？

（多美子さん・拓馬さん）繁忙期や収穫の時は家族みんなでやっています。家族で仲良く、楽しく、助け合いながら、農業ができるのはいいことですね！

昨今、農地の担い手不足や農業者の高齢化が進んでいます。

滝本さん親子のように家族で助け合いながら、農業経営を行うことが農地を守ることに繋がっているんですね。これからも、ぜひ寝屋川市の農業を盛り上げていってほしいです。

